

みなみマルシェについて (概要)

1 事業概要

(1) 日時：平成30年6月10日(日) 午前10時～午後5時

(2) 会場：主要地方道白根西川巻線(中央通)

リオンドール白根店から白根中央通郵便局までの間 60メートル

(3) 内容：中央通を車輛通行止めにし、出店者を20店舗程度集めて「マルシェ」

を開催する。

※フランス語で「市場」の意

2 主催等

にいがた南区創生会議

白根青年会議所等の区内若手が中心となって、平成29年4月26日に設立。南区の活性化のために、人を呼び込むイベントとして移動式マルシェ「通称：みなみマルシェ」を継続的に実施しようとするもの。

初回は6月10日(日)に、白根大胤合戦と同時開催し、今後、継続的に実施するため、開催効果や影響等について検証を行うもの。

初回で得た検証結果等を基に、次回7月29日(日)に開催することで準備中。

3 現状及び目的

まちなか

現状：公共施設の分散立地、国道8号線に沿って線状に広がる商業施設、既存商店街の衰退等により、いわゆる中心市街地と呼べる「まちなか(拠点性を有した、継続的に人々が集う特定の範囲・場所)がない」

目的：新たな、継続的に開催できる購買機会の提供。マルシェのブランド化

交流推進

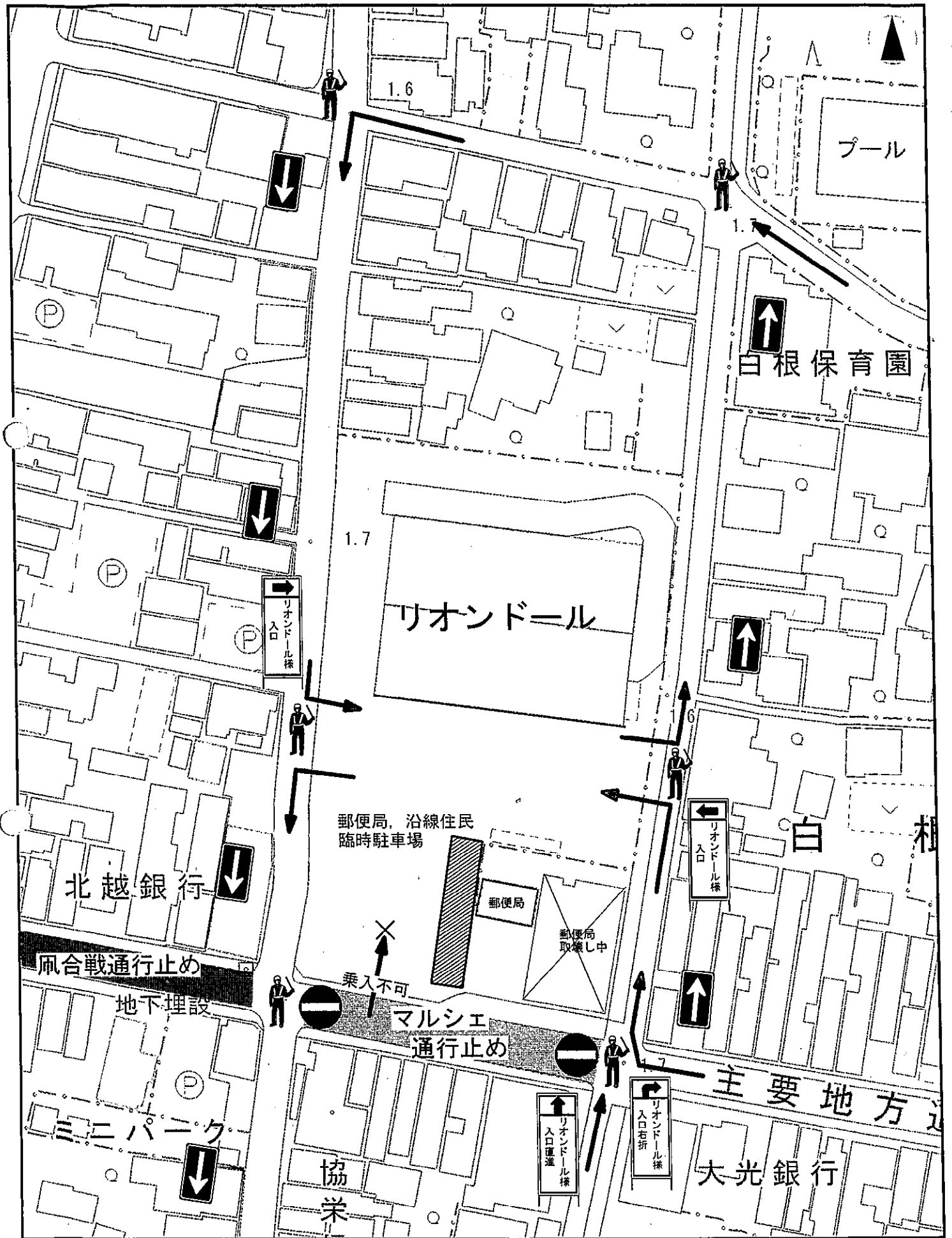
現状：購買人口の流出。南区へ人を呼び込めていない。今後、全線開通予定の白根バイパスによりこれまで以上に南区を「通過するだけ」の人・車両が増加することが予想され、まちの空洞化が大いに懸念される。

目的：効果的な区内外への地元産品と南区の魅力のアピール

交通

現状：南区の公共交通機関は、路線バスと区バスのみであり、住民が生活していく上での移動手段は概ね自家用車。区外から南区への移動手段も同様。

目的：南区の交通拠点となり得る候補地及び参集手段の検証



1/1000

